

情報連絡員報告総括表（令和3年4月分）

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名（100%）

業界の景気動向（前年同月比）

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>（臨時・パートを含む）</small>			業界景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製 造 業	食料品		2	2		4		1	3			4			2	2		2	2		3	1		3	1		2	2
	繊維工業			3	1	1	1		3			2	1		1	2		1	2		1	2		3			1	2
	木材・木製品	1					1	1			1		1				1		1				1		1			
	紙・紙加工品			2		2			1	1		1	1			2	1	1		1		1		2		1		1
	印刷		1			1			1			1			1			1			1		1				1	
	化学・ゴム																											
	窯業・土石製品			3	1	2			3			2	1		2	1		3			3			3				3
	鉄鋼・金属		1			1			1			1			1			1			1		1			1		
	一般機器	1	1	1		2	1		3			3		1	1	1		3		1	2		1	2			2	1
	電気機器			1			1			1					1				1			1			1			1
	輸送機器	1					1		1			1			1			1		1			1			1		
その他																												
小計	3	5	12	2	13	5	2	16	2	1	16	3	2	9	9	2	13	5	4	11	5	3	15	2	4	5	11	
非 製 造 業	卸売業		2			2			2			2			1	1		2					2			1	1	
	小売業	2	4		1	5		2	4			5	1		3	3		3	3				6			3	3	
	商店街		1			1			1			1			1				1					1			1	
	サービス業	1	4						5			5			4	1		4	1				4	1		4	1	
	建設業		3	1					4			3	1		3	1		3	1				4			2	2	
	運輸業		1						1			1			1			1					1			1		
	その他	1							1			1			1			1					1			1		
小計	4	15	1	1	8		2	18			18	2		14	6		14	6				18	2	1	11	8		
合計	7	20	13	3	21	5	4	34	2	1	34	5	2	23	15	2	27	11	4	11	5	3	33	4	5	16	19	

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和2年4月～令和3年4月)

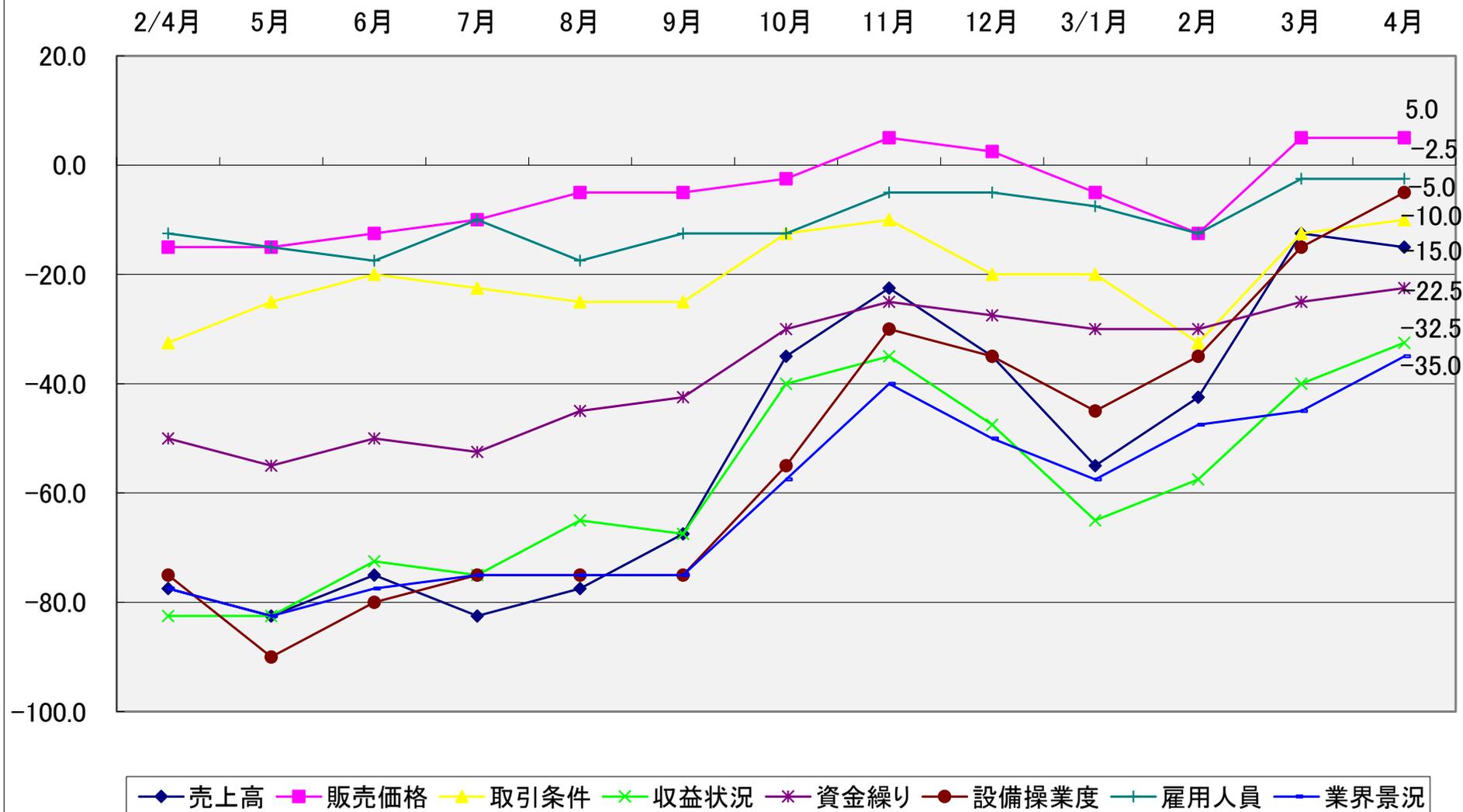
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	2/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3/1月	2月	3月	4月	増減
売上高	-77.5	-82.5	-75.0	-82.5	-77.5	-67.5	-35.0	-22.5	-35.0	-55.0	-42.5	-12.5	-15.0	-2.5
販売価格	-15.0	-15.0	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-2.5	5.0	2.5	-5.0	-12.5	5.0	5.0	0.0
取引条件	-32.5	-25.0	-20.0	-22.5	-25.0	-25.0	-12.5	-10.0	-20.0	-20.0	-32.5	-12.5	-10.0	2.5
収益状況	-82.5	-82.5	-72.5	-75.0	-65.0	-67.5	-40.0	-35.0	-47.5	-65.0	-57.5	-40.0	-32.5	7.5
資金繰り	-50.0	-55.0	-50.0	-52.5	-45.0	-42.5	-30.0	-25.0	-27.5	-30.0	-30.0	-25.0	-22.5	2.5
設備操業度	-75.0	-90.0	-80.0	-75.0	-75.0	-75.0	-55.0	-30.0	-35.0	-45.0	-35.0	-15.0	-5.0	10.0
雇用人員	-12.5	-15.0	-17.5	-10.0	-17.5	-12.5	-12.5	-5.0	-5.0	-7.5	-12.5	-2.5	-2.5	0.0
業界景況	-77.5	-82.5	-77.5	-75.0	-75.0	-75.0	-57.5	-40.0	-50.0	-57.5	-47.5	-45.0	-35.0	10.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	野菜全般が豊作のため、漬物原料野菜は順調な入荷となっているが、生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足は続いている。そのため、伝統的な漬物においても原料不足のため、代替原料による新たな商品開発の試みが行われている。また販売状況においても、コロナウイルスに関わる外出自粛の影響により、駅、土産物店等でお土産物の漬物の販売及び外食産業での需要が大きく減少している。今年度は4月13日に伊勢市において通常総会を開催し、書面決議を行った。
	醤油味噌	原料等が高騰しているが、その分を製品には転換できず、厳しさは続いている。イベントでも試食販売はできずに低迷していて盛り上がらない。決算も良い状態ではなく、年々厳しくなっている。
	豆腐	コロナの影響による外食産業、観光業への食材としての豆腐油揚げの納品が減少しているが、昨年の4月程ではない。
	製麺	第4波の感染が拡大して、先が見えない状況ではあるが、インターネット販売、工場直販、移動販売等の新しい取り組みについては、売上が上がっている。新しい取り組みにシフトできるように取り組み、活性化につなげていくつもりである。
繊維工業	衣料縫製	大変厳しい中、状況に応じて生産をしている。早く通常の生活に戻ってほしいものである。
木材・木製品	木材	外材の入荷難から依然として製品の高値、品薄状態が続いている。
紙・紙加工品	紙器段ボール	段ボールの需要は4月上旬はまずまずの動きであった。しかし、コロナの感染拡大に伴い、ユーザーの生産計画の見極めも難しく、連休前の発注も不透明で減少気味であった。
	古紙	4月の仕入れ量は段ボール:約100±3%、新聞、チラシ:約108±5%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約93±8%となる。前年はコロナウイルス感染症の対応・対策に追われオリンピックも1年延期となり、いよいよ開催に近づいているが治療薬はなく、ワクチンも十分に届かず、接種に安全性の不安が残る状態である。再び医療崩壊が起こり効果的な対策が打たれていない中、毎日の仕事をされる医療従事者には、尊く頭が下がる今日この頃である。巣ごもり消費と持ち帰り・デリバリーにより段ボール古紙の発生は、輸出がコンテナ不足・価格高騰のせいか前年並みの所が多く様である。雑誌・雑がみは雑誌の販売量が激減し前年比マイナスのところが多く、雑がみに不純物が多く入り製紙原料として荷余り気味である。資源物価格は戻りつつあり、古紙の持去り行為も未だ無くならない。古紙の持去り行為禁止は、法制化の動きがみられるが、警察力で行為の禁止と流通の禁止が出来る様になってほしいが、現状は難しい状況である。古紙無料回収所への不法投棄も使用済み家電や家庭ごみの置き去りが多発しているが、対処方法がなく張合いがない。
印刷	印刷	例年、三重県民手帳の売上金の一部を(公社)三重県緑化推進協議会へ寄付してきたが、今年はもうひとつ三重県の「新型コロナ克服 みえ支え“愛”募金」にも贈呈できた。業況は、売上等を不変としたが、これはコロナ禍の影響による厳しい業況が昨年と変わらない状況ということである。
窯業・土石製品	伊賀焼	陶器まつり等、各種イベントの中止が多く、会館、窯元の売上については減少しているが、陶芸体験については昨年に比べ増加している。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界は、自動車関連部品を扱う会社のうち好調であるのとそうでない会社とに二極化した。又、将来的にはEV化により部品等の減少が見込まれ、先行不安といった声もある。機械部品は増加傾向にある。建築金物は安定している。半導体関連は在庫も含めかなりの増産依頼があり、夏まではこの状況が続くと思われる。ただ、中にはまだ雇用調整の継続中という企業も見受けられる。
一般機器	四日市	コロナ禍の真ただ中で業種によっては、死活問題となっているのが現状である。我々組合員はワクチンの接種を待ちながら、仕事に懸命な努力を続けている。
	津市	一部のメーカーでは、半導体不足による休業をしているが、幸い取引しているメーカーでは今の所、休業もないとの事である。また、昨年は休業による落ち込みから、急な受注増加があったという事で、取引先では多めに在庫を持つよう指示が出ているため、その分の受注が増えている。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言もあり、依然として先行きが見通せないままである。
	伊勢	2回目の非常事態宣言が解除された後、急速に全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、3回目の非常事態宣言が出された。5月連休の活動も抑制される。経済活動の制限で困る企業が多い反面、一部の企業は逆に忙しくなっている。外国人の方は入国制限が続けられ、また帰国も困難な状態である。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
電気機器	鳥羽	3月に続き、現状は回復せず、非常に厳しい状態である。
輸送機器	鈴鹿	半導体不足の影響は今月はまだあからさまには出ていなかったが、鈴鹿市内の大手自動車メーカーでは、5月の後半に4日間の休業を予定しており、大型連休の休暇もあり、中には5月の売上が通常月に比べて半減する下請け企業もある。
小売業	青果	【野菜前半】全体的に価格は横ばいである。愛知産の新玉葱は例年より収穫が早く、お買い得である。レタスも入荷が安定しており、値段は安い。高値が続いていたピーマンは入荷が増え、お手頃である。【野菜後半】安値が続いていたが、雨の影響や連休に向けて、キャベツ、人参、レタス等は値上がりしている。きゅうりは宮崎、高知、群馬等の多くの産地からの入荷が増え、安くなっている。【果物前半】イチゴは入荷が増えてお買い得である。りんごは青森産の「ふじ」の入荷が順調で、例年よりお買い得である。熊本産のスイカも入荷が増え、価格も値下がりが見みである。【果物後半】熊本産のアンデスメロン、ホームランメロンは入荷が増え、美味しくて今がお買い得である。熊本産のスイカについては、今は夜の気温が下がるため、糖度が上がり甘味が強くて今が食べ頃で美味しい。
	自転車	春需要の通学自転車の販売も終え、一段落のこの業界も自転車製品の価格の上昇や少子化により市場全体の縮小が進んでいる。3月末では(前期末)完成自転車の生産額は前年比1割増しと堅調な伸びを示しているものの、消費者は新車を購入せず修理したり、中古車を買求める傾向が強まっている。コロナウイルスの影響により、部品メーカーの生産、入荷の遅れが目立ち始め、スポーツ車においては、全くのストップ状態である。しばらくはこの状況が続くものと思われる。
	電器	4月は長引くコロナ禍の中でも販売は前年に対してはアップする事が出来た。家電製品は必需品要素が高く、買替需要がある事が業界として厳しい中でも救いとなっている。テレワークや巣ごもりと新たな環境にも敏感に対応してきている。今月販売を引っ張った好調商品は洗濯機・エアコン・4K8K対応テレビ・空清関連商品が好調であった。コロナ禍の中で催事のあり方が変わってきている。今後のどの様な形になってゆくのかは不透明である。催事に手間と金をかける店とそうでない店の販売が乖離しつつある。在庫は実需とのタイムラグがあるので増えつつある。心配は長引く需要の低迷の中、今後の見通しは厳しい状況が予想される。こうした中、組合員間の格差が広がりつつあるのが大きな心配となってきた。原因としては、店主の高齢化による廃業が大きな問題で、業界の中でも地域電器専門店では、この課題解決が大きな問題となっている。まさに事業継承の問題が顕在化しつつある。前年もそうであったが、高齢店主の自主廃業がコロナ禍の中で加速されつつある。
	石油	テレビ放送が自動車のEV化の情報を多く取り上げ出した。政府から2035年乗用新車販売で電動車100%の方針が示されたことで、多くのSS(サービスステーション)経営者が将来に大きな不安を抱いている。ガソリンを売ってはいけないうことではないが、CO2は排出抑制の名のもとに、これまで主食であった米をパンに変えなければならないというように、多角化・事業転換等を進めざるを得ない状況になってくる。県内においてもじりじりとSSの廃業が進んでいる。これ以上SS経営者を減らさないように政府与党に訴えていくとともに、事業の多角化に向けた政策支援、特に中小企業向けの支援を強く求めていく必要がある。
	スポーツ	学校が始まり、新入生の体操着の販売も終わり、今日は新入クラブのユニフォーム、スポーツ器具の販売が始まっている。コロナ禍ではあるが、飲食のように商売を続ける云々の心配がないので、ありがたいと思っている。国体に向けた用具や服装のビジネスが県下のあちらこちらで始まっている。
商店街	熊野市	新型コロナウイルスが県下でも徐々に広がる中、商店街での朝市イベントを感染対策を徹底して開催した。テイクアウトのお弁当類は早い時間に売り切れる店舗もあり、賑わいがあった。お客様自体も野外での朝市イベントはスーパーで買うより密にはならないので気持ちよくお買い物ができるといった声も頂いた。今後も感染対策を徹底しながら継続していくべきと感じた。
サービス業	旅館	日を追って増加する感染者数、特に関西圏と近県の感染拡大によって集客数は伸びなかった。しかし、変異株への対応、まん延防止対策の強化等、昨年と比べ事態はより深刻であるにも関わらず、お客様は長期化する巣ごもり生活からか、旅行に出かける気分が強いようで、5月のゴールデンウィークは予想していた程、キャンセルも出ず、4月全体でも昨年比400%増、一昨年比は60%減位が実績のようだった。
	測量	仕事柄、新型コロナウイルス感染症の可能性は少なく作業には影響はない。官庁発注の業務はまだ少ない。民間発注はほぼゼロである。
	警備	年度変わり例年のごとく、公共事業が減少した。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
建設業	内装工事業	新しい年度に変わり、売上等は減少傾向にある。ここ最近はやや増加となっていたが、今年は少し減少となった。やはり新型コロナウイルスの影響があると思われる。
	水道工事業 (亀山)	引き続き、衛生資材の入荷が困難になっている。また、建設資材についても注意しないと入手が困難な状況になってきている。工事の受注については、材料の入荷状況等を確認しながら施主との打ち合わせを密にしないと、トラブルが起こる可能性があるので慎重になる。
運輸業	トラック	燃料価格はほぼ横ばいで推移した。新型コロナウイルスの第4波による感染拡大が懸念される中、巣ごもり需要も一旦落ち着きを取り戻し、宅配、飲料、生鮮食品関係の輸送については横ばいとなった。また、企業の設備投資が持ち直していることから、建設関連の輸送は増加しているものの、世界的な半導体不足から、自動車関連の輸送は依然低迷している。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	今期も書面決議中心の総会等となるが、業界の状況を把握して、全力で取り組んで参ります。またご指導よろしく願いいたします。
一般機器	四日市	経済と新型コロナウイルス対策の両方に配慮しつつ、国の施策の遅れが気になっている。わかりやすい説明が望まれる。
サービス業	旅館	DIの集計は対前年比で集計されるようであるが、全産業中、宿泊業、飲食業等、特に「コロナ禍」によって減収した業種の実態が反映されるような集計方法を検討してほしい。
	測量	組合員各位の緩やかな成長を望んでいる。